

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	交通弱者等の移動可能性に関する調査研究		担当部局庁	国土交通政策研究所		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H23/H24		担当課室	-		研究調整官 笹山 博		
会計区分	一般会計		施策名	30 社会資本整備・管理等を効率的に推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	交通は人々の移動に不可欠であり、様々な活動の基礎となっている。しかし、バスや鉄道等の利用者数は減少が続き、少子高齢化・人口減少社会を迎え、ますます公共交通の確保は厳しい状況となると考えられ、自家用車を利用できない人々にとって移動が困難となる状況が考えられる。このため、今後の地域交通政策の検討に資するよう、客観的なデータに基づく移動可能性に関する指標(移動のしやすさ指標)の作成とこれを活用した分析手法の作成等を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本調査研究は、買物、医療、教育等の人々の日常生活を対象として、居住地(出発地)から生活に必要な活動を行う場所(目的地)までの交通アクセスのしやすさについて、移動可能性に関する指標を作成するとともに、この指標を活用して地域交通や地域づくりに関する分析方法を提案し、我が国で人口減少・高齢化が急速に進行する中で、地域の人々の暮らしの視点に立った国土交通政策の検討に資する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	23	18	-	
	執行額	-	-	22	-	-		
	執行率(%)	-	-	95.7%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)
	調査検討の報告数	成果実績	件	-	-	0	1	
		達成度	%	-	-	0	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	調査検討の報告数	活動実績(当初見込み)	件	-	-	0	1	
					-	(0)	(1)	
単位当たりコスト	22 (百万円/件)		算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0	-	平成24年度限りで廃止することとされた事業であるため。				
	職員旅費	1	-					
	委員等旅費	0	-					
	社会資本整備・管理効率化推進調査費	16	-					
計	18	-						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	現下の情勢にかんがみ、国土交通行政に関する喫緊の課題を対象としたものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	契約の相手方を特定する際に、企画提案方式を取り入れることで競争性を確保している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	事業の目的に照らして適切に活動しており、その結果終了年度において一定の成果を得ることができた。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	研究内容の重点化・事業効率・コスト等の観点からも適切に執行されている。なお、今後においても研究の水準が低下しない範囲で可能な限りコスト縮減に努めていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	交通弱者等の移動可能性に関する調査研究については、平成24年度までに必要となる研究成果を得られる見込であり、当初の事業目的は達成されることから、当該事業は24年度をもって廃止とする。今後は、研究成果を早期にとりまとめ広く情報発信を行うべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止	平成24年度までに必要となる研究成果を得られる見込であり、当初の事業目的は達成されることから、当該事業は24年度をもって廃止とする。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	新23-1041

国土交通政策研究所
22百万円

研究全般、総合調整、予算の執行
管理、業務発注等を行う。



【企画競争】

A. 民間企業(2社)
21百万円

現状分析調査、ヒアリング調査、
指標の作成、情報収集・分析等を行
う。

諸謝金
0百万円

職員旅費
1百万円

委員等旅費
0百万円

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(株)価値総合研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	調査研究	18			
計		18	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)価値総合研究所	現状分析調査、ヒアリング調査、指標の作成等を行う。	18	随意契約 (企画競争・ 13者応募)	99.9
2	(株)三菱総合研究所	情報収集・分析等を行う。	3	随意契約 (企画競争・ 4者応募)	99.3
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					